

塩谷郡市医師会だより

平成16(2004)年12月8日 第36号

社団法人 塩谷郡市医師会 塩谷郡氏家町桜野 1319 番地 3 氏家町保健センター内 Tel 028(682)3518

平成16年度第3回役員会報告

平成16年11月8日(月)午後6時30分から氏家町保健センター内医師会事務室にて開催されました。
出席役員：尾形会長・小林副会長・戸村副会長・西・山田・後藤・奥山・根本・阿久津正・阿久津博
大和田・二井谷・軽部・川原事務長



冒頭に尾形会長より挨拶があり、最近の一番の問題点として、混合診療問題であり、国民皆保険の危機、株式会社病院参入などについて、説明がありました。

議題1 栃木県郡市、大学正副会長準備委員会経過報告について

小林副会長より説明あり、塩谷郡市主催で、11月20日(土)に35名の出席で懇談会が行われます。

協議事項・提案事項として、次の内容が話し合われます。

小林副会長の議事進行で、下記の議題について協議しました。

- ①開業相談委員会の設置について
- ②准看学院の補助金問題について
- ③附属准看護学校への専任教員増員にともなう県からの補助金継続についての要望
- ④「有床診療所を考える」委員会の設置について
- ⑤平成17年度地域保健活動推進委員会の各郡市医師会の対応について

議題2 医療機能分化推進運営委員会経過報告について

①地域医療連携ソフトについて

尾形会長より説明あり、塩谷総合病院の連携ソフトが動き出しましたが、まだ紹介が少ないようです。

Web上の情報量も少ないので塩谷総合病院に入力してもらいましょう。

②新聞折り込みパンフレットについて

「かかりつけ医を持ちましょう」のパンフレットを作成し、塩谷郡市1市4町に約4万部、下野新聞の折り込みとして11月15日(月)に配布しました。

③下野新聞に連載するコラムについて

塩谷郡市医師会で、下野新聞の暮らし欄に「地域医療に関するコラム」を週1回半年～1年にわたって連載することになりました。11月15日にコラム編集委員会を開催し、コラムの主旨は、

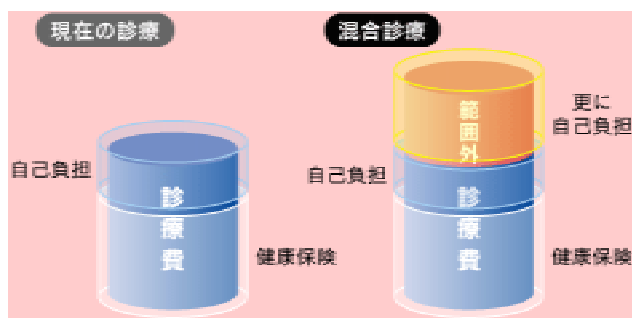
「一般の読者に普段なじみがうすい地域医療の問題点や課題などを取り上げて、医療者の立場から分かりやすく解説し、医療を受ける側の人々に医療について知ってもらうことを目的とする。」としました。

原稿執筆は輪番制として、来年1月からであり、最初のコラムについては各先生方に依頼してあります。今後の原稿執筆に参加してもよいという先生は、ぜひ、岡一雄先生までご連絡ください。

議題3 国民皆保険制度を守る署名運動について

日本の健康保険制度では、健康保険で診ることができる診療(薬や材料も含まず)の範囲を限定しています。

混合診療とは、健康保険の範囲内の分は健康保険で賄い、範囲外の分を患者さん自身が費用を支払うことで、費用が混合することを言うのです。



..... 日本医師会ホームページより抜粋

戸村副会長より説明あり、一見すると医療機関の収入が増えるようですが、患者側の負担は増加し、ひいては国民皆保険制度崩壊につながり、株式会社病院が参入し易くなります。

混合診療のメリットと思われる部分は、特定療養費の修正で十分に対応可能です。

国民皆保険制度を守るため、混合診療解禁には反対しましょう。

塩谷郡市医師会ホームページ	広報委員会編集部	医師会事務局
U R L http://www.tochigi-med.or.jp/~shioya/	阿久津正之 akutsu@d1.dion.ne.jp	川原 shioya@triton.ocn.ne.jp
M L shioya-ml@tochigi-med.or.jp	戸村 光宏 mtomura@sirius.ocn.ne.jp	坂和 sakawa@e-shioya.jp

■議題4 その他

- 1) 新潟中越地震の義捐金として、郡市医師会から10万円出すことを決定しました。
- 2) 主治医意見書の書き方の講習会には、病院勤務医にも来て欲しい。
厚生科学研究所で出版している「主治医意見書の書き方」太田秀樹著2,800円は、分りやすく講習会でも利用しています。
- 3) 第2回初期救急医療施設勤務医研修会および第3回小児科診療医師研修会が12月11日(土)開催されます。参加者が少ないので是非参加してください。

医療機能分化推進委員会からのお知らせ

健康管理手帳の配布について

今年3月に試験的に配布しました「健康管理手帳」を今年度は本格的に導入しました。各医療機関に100部(病院は300部)配布しました。今年6月に行いました「健康管理手帳に関するアンケート」の結果に基づき、診療経過と検査値の経過の欄を一部改定し、より使用しやすくしましたので、ぜひご利用ください。手帳が足りない場合、利用する予定がない場合などは医師会事務局までご連絡ください。また、塩谷郡市医師会の「健康管理手帳」増刷が12月3日付の下野新聞の記事となりました。



下野新聞コラム執筆者募集について

来年1月より週1回(曜日はまだ未定)、くらし欄に塩谷郡市医師会会員によるコラムの連載が始まります。このコラムは一般の読者に医療に関する事柄についてより理解してもらうことを目的としたもので、下野新聞社に企画の提案をしました所、実現することになったものです。タイトルは「かかりつけ医のココロ～塩谷郡市医師会リレーコラム」とほぼ決定しました。

その内容はタイトルにもなっている「かかりつけ医」のことから「介護保険」「産業医」「スポーツ医」などわれわれ医療人が関わっている事柄を幅広く取り上げる予定です。すでに前半のコラムについては執筆依頼済みですが、今後のコラムの執筆に興味がある先生は書きたい内容を添えて医師会事務局、または、岡(028-681-1251)までご連絡ください。

なお、下野新聞社から原稿料は出ませんのでその点はご了承ください。

「かかりつけ医」「地域医療連携」にチラシについて

医療機能分化推進委員会ではこのほど「かかりつけ医」および「地域医療連携」の二色刷りチラシを作成し、塩谷郡1市4町の約4万世帯に新聞折込で配布しました。

このチラシは各医療機関にも50部配布しましたので、待合室等に置いて「かかりつけ医」の定着と「地域医療連携」の推進のためにぜひ活用してください。▼11月22日朝刊で配布されたチラシ



報告事項

●氏家町生涯学習フェアに禁煙ブース参加

さる10月24日(日)氏家町公民館で開催された生涯学習フェア2004において氏家町医師団の森島真(塩医社会活動委員会禁煙運動担当委員)、岡一雄が昨年に引き続き禁煙ブースを設け、一般住民の方々に喫煙の害を訴えました。

生涯学習フェアへの参加は医師会の社会活動委員会の後援を受けました。今回の展示は「タバコのトリビア」とタイトルをつけてタバコに関する「へえー」と思わず唸ってしまう雑学を特集し、多くの方が興味深く見学していました。 報告者：岡

●新年会(懇親会)のお知らせ

- *日時：平成17年1月28日(金)午後6時30分
幹事は高根沢医師団
- *会場：高根沢町元気あつぷ村2F「青梅」
- *会費：3,000円
会員の先生方、是非ふるってご参加ください。

●主治医意見書の書き方の書籍購入

さる11月26日(金)に太田秀樹先生(おやま城北クリニック院長)の主治医意見書の書き方の講習会が行われましたが、講習会出席者のテキストとして使用した太田秀樹著「主治医意見書の書き方」を医師会として10冊購入しました。興味のある方は貸し出したしますので医師会事務局までお問い合わせ下さい。